



特別史跡 名古屋城
西の丸御蔵城宝館
NISHINOMARU OKURA MUSEUM



重要文化財 本丸御蔵障壁画 麝香猫図 江戸時代 慶長19年(1614) 名古屋城総合事務所蔵

名古屋城 西の丸御蔵城宝館 展示



表書院の障壁画

— めずらしい動物 —

令和7年(2025)

7月18日(金)→8月31日(日)



会場：名古屋城 西の丸御蔵城宝館

開館時間：午前9時～午後4時30分(最終入館 午後4時)

ただし、催事等により変更となる場合があります。

休館日：会期中は無休

入館料：入館無料

*名古屋城観覧料500円
(名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料)が必要です。

主催：名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

協力：一般財団法人 名古屋城振興協会

名古屋城 西の丸御蔵城宝館 展示

表書院の障壁画

— めずらしい動物 —

令和7年(2025)

7月18日(金)→8月31日(日)

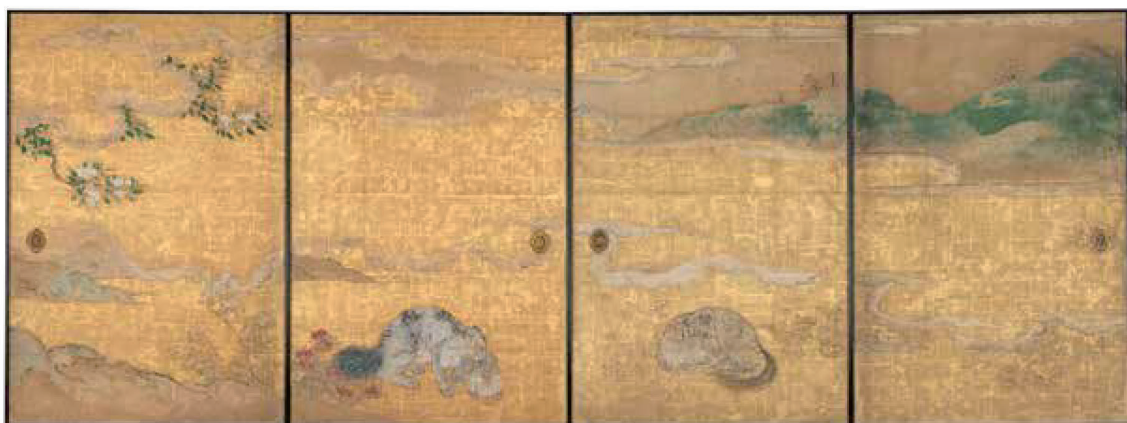


名古屋城本丸御殿の室内は、御用絵師である狩野派の障壁画によって彩られました。寛永11年(1634)の増築部分を含む現存する本丸御殿障壁画のうち、今回は表書院の障壁画とそれに関連する資料を公開します。

表書院の障壁画には、三之間の麝香猫^{じゃこうこ}や上段之間の吐綬鶏^{とじゅけい}など、主に中国からもたらされためずらしい動物が描かれていました。時の権力者たちはこのような舶来品に関心を寄せており、絵画の画題として広く用いられました。

時を経て、舶来品は明治時代の博覧会にも出品され、「博覧会諸人群集之図」(名古屋城振興協会蔵)には市井の人々もめずらしい動物を鑑賞していた様子が描かれます。

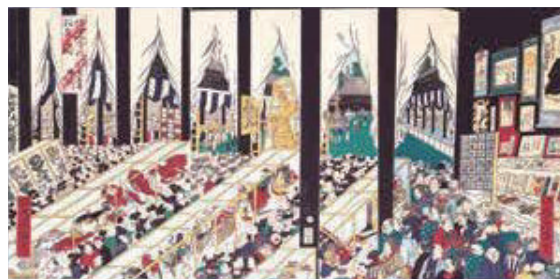
本展では、異国の動物が集う空間をお楽しみいただきます。



重要文化財 本丸御殿障壁画 麝香猫図 江戸時代 慶長19年(1614) 名古屋城総合事務所蔵



古今珍物集覧 明治時代 名古屋城振興協会蔵



博覧会諸人群集之図 明治時代 名古屋城振興協会蔵



名古屋城 西の丸御蔵城宝館 交通アクセス

地下鉄/名城線「名古屋城」下車7番出口から東門まで徒歩5分、
東門から徒歩10分
市バス/栄13号系統(栄～安井町西)「名古屋城正門前」、
なごや観光ルートバス「メークル」「名古屋城」下車正門まで徒歩1分、
正門から徒歩2分

お問い合わせ

名古屋城総合事務所
〒460-0031
名古屋市中区本丸1番1号
TEL (052) 231-1700
<https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/>